



(プレスリリース) 第三者割当による株式買取基本合意書調印について

東京、2008年6月19日、株式会社ジーエヌアイ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木勘一郎、以下ジーエヌアイ）は、本日、Evolution Master Fund（以下Evolution）と調達総額最大15億円の第三者割当による包括的新株発行プログラム（12回シリーズ）の株式買取基本合意書に調印いたしました。この新株発行プログラムは2008年8月1日より開始されます。Evolutionは現在、ジーエヌアイの既存筆頭株主です。

ジーエヌアイとEvolution は、株式買取基本合意書において各回1億2千5百万円の第三者割当増資を最大12回行うことを定めています。発行条件等は本日発表の「第三者割当による株式買取基本合意書（包括的新株発行プログラム）締結に関するお知らせ」に記載の通りですが、株式の希薄化に歯止めがかかるように設定されております。

今回の調達資金の使途は、医薬品製造会社である上海衡山薬業有限公司（英文名：Hengshan Pharmaceuticals Inc.）への出資に加え、F647（肺線維症治療薬）の第3相臨床試験入り、及びF351（肝線維症治療薬）の第2相臨床試験入りに備えた臨床試験の拡大等の研究開発費を予定しています。

ジーエヌアイは、平成20年5月19日付「Hengshan Pharmaceuticals Inc.（中国法人）の出資持分の取得（子会社化）に関する基本合意書締結のお知らせ」で発表のとおり、上海を拠点とする上海衡山薬業有限公司の60百萬元（約8億6千5百万円）の出資持分取得を二段階に分けて行う基本合意書の締結を行いました。この買収が実現した場合、ジーエヌアイの売上高は平成20年3月期の2億7千3百万円から、グループ全体で年商約20億円以上の規模に増加することが見込まれます。中国における医薬品の製造及び品質管理に関する基準であるGMPの承認を受けた15,900平方メートルの敷地面積を有する製造設備を確保できることとなります。さらに平成20年6月18日に「特発性肺線維症治療薬「F647」の第2相臨床試験の結果について」で発表のとおり、当社が開発中のF647が、第2相臨床試験において有効であったという結果を得ています。また、F647の中国における第3相臨床試験は2008年中に開始することが見込まれています。これらの重要なマイルストーンは、ジーエヌアイが医薬品開発の上流工程である創薬候補物の探索から、下流工程の薬剤製造・開発の段階に焦点を移していることを示しています。

ジーエヌアイのCEOであるイン・ルオ博士は、次のように述べています。「我々の医薬品開発が次の臨床試験の段階に向け、順調に進行しており、ジーエヌアイにとって、2008年は更なる期待感を持ちうる年になると考えています。私たちは、既存の主要株主であるEvolutionが、現在の世界的に厳しい市場環境にも関わらず当社への投資の拡大を決めたことを喜ばしく思っています。この投資は、当社の本格的な製薬会社への成長を後押しするものです。私たちは、この新たな調達資金を慎重にコスト管理を続けながら活用していきます。」

イン・ルオCEOは加えて、「2007年8月に株式公開を行った後に、日本と中国の組織的な統合化を進め、経営体制の変更を行いました。経営体制の再編成は、主要な研究開発のマイルストーンと事業目標の達成に寄与しました。また、これらの努力により、当社は新しく生まれる事業機会に向けて、有利な状況に立つことができました。現在の経営チームは、今後も収益性を早期に高め、さらなる企業価値の向上を実現するための新しい方法を追求していきます。」と述べました。

ジーエヌアイについて

2001年に設立された臨床段階の国際的な創薬企業（本社東京）です。2005年6月に上海ジェノミクス（2001年設立）を買収し、中国上海において臨床試験等の重要な事業活動を行っています。また日中の一体化した強みを生かし、他の国際的製薬企業との共同研究を行ってきました。福岡および中国の北京、天津、鄭州にも事業拠点を持っています。詳細は、ホームページ www.gnipharma.com と www.shanghaigenomics.com をご覧ください。